

平成30年度第2回徳山中央病院地域連絡協議会 議事概要

【日時】平成31年2月28日（木）19：00～19：50

【場所】JCHO徳山中央病院本館8階第1会議室

【次第】

1. 開会挨拶
2. 委員紹介
3. 議題
 - (1). 徳山中央病院の現状報告
 - (2). 平成30年度年末年始救急外来状況および直近3ヶ月の病床利用率について
 - (3). 5月2日の開設について
 - (4). 各委員からの要望等について
 - (5). その他
4. 閉会挨拶

【出席者】

中嶋 裕	(山口県周南健康福祉センター所長)
大西 輝政	(周南市役所福祉医療部長)
津田 廣文	(徳山医師会会長)
蔵田 聡	(徳山歯科医師会会長)
西村 正広	(徳山薬剤師会会長)
久村 信幸	(周南市立新南陽市民病院事務局長)
松村 紀文	(徳山医師会病院事務局長)
北村 則和	(周南市社会福祉事業団事務局長)
三浦 哲哉	(周南市社会福祉協議会事務局長)
田中 義啓	(周南市自治会連合会会長)
那須 誉人	(JCHO徳山中央病院院長)
齋藤 満	(JCHO徳山中央病院副院長)
沼 文隆	(JCHO徳山中央病院副院長)
松浦 義則	(JCHO徳山中央病院事務部長)
小阪 マリ子	(JCHO徳山中央病院看護部長)

【欠席者】

前田 瞬	(徳山大学福祉情報学部准教授)
------	-----------------

【議題概要】

1) 徳山中央病院の現状報告

30年度4月～1月の診療実績を28年度、29年度と比較しながら報告した。

2) 平成 30 年度年末年始救急外来状況および直近 3 ヶ月の病床利用率について

(12 月 29～1 月 3 日の状況について資料をもとに説明を行った。)

年末年始 6 日間の救急外来へ約 1,100 名、昨年より 400 名弱と少なかった。

1 日平均患者数は、昨年は 253 名、今年は 184 名と比較的落ち着いていた。

昨年はすでに年末年始にインフルエンザが流行っていたが、今年はピークが遅れたことが要因である。

年末年始の入院患者数は、昨年度 93 名、1 日平均 15.5 名、今年度は 105 名、

1 日平均 17.5 名と外来は少なかったが入院は若干多かった。

年末年始のこども Q Q の患者数について、昨年は 700 名でインフルエンザが多かったため、12 月 30 日～1 月 1 日と応援を出した。

今年は、インフルエンザのピークが遅れたため、425 名と少なかった。

しかし、1 月中旬頃からインフルエンザが流行って、1 日に 200 名ぐらい受診する日もあった。

(直近 3 ヶ月の病床利用率について折れ線グラフの資料をもとに説明を行った。)

月曜日から木曜日にかけて利用率が上がっていき、木曜日にピークをむかえ、土日に向けてまた下がっていくというほぼ同じカーブで推移している。

12 月は、昨年 85.93%に対して今年は 91.53%であった。

1 月は、昨年 90.79%に対して今年は 92.82%であった。

1 月 1 日は 70%を下回るが手術予定が入ってきて、10 日には満床に近づき、利用率が高い状態が続く、救急の受け入れが難しい状態になっていく。

寒波やインフルエンザが重なり、どこの病院も満床で、転院調整が難しい時期である。

2 月は、昨年 94.62%に対して今年は 95.78%であった。

病床利用率の推移を図にすると、パターンがつかめてきたので、今後のベッドコントロールの参考にしていきたい。

3) 5 月 2 日の開設について

徳山中央病院は、5 月 2 日に外来、入院を開設する予定であることを報告した。

(新南陽市民病院も 5 月 2 日開設予定)

4). 各委員からの要望等について

(質問)

救急外来で周南市以外の方がどの程度いるのか。

(回答)

周南市が約 80%、下松、光がその他である。岩国、柳井の割合も上がってきている。

(質問)

年度末に災害の訓練を行う話を聞いたが、何人ぐらいの参加があるか。

(回答)

開催日は 3 月 9 日で、40～50 人の参加予定である。

(質問)

5 月 2 日が開設日になるとのことだが、休み中の転院について、医療機関間の話し合いは出来ているのか。

(回答)

転院は、事前に地域連携室で調整を行っている。

(要望)

舌癌を気にされる方が増えてきているので、口腔外科に紹介することがある時は、よろしくお願いいたします。

(回答)

承知した。

(意見)

5 月 2 日開設に伴い、各薬局の連休中の状況を調査して報告する。

(回答)

ご協力をお願いしたい。

(質問)

連休の場合は、事前に期間増しをして投薬を出せるのか。

(回答)

急患の場合は、長くは出せないが、定期的にお薬が出ている方は可能である。

(質問)

平均在院日数はどのぐらいか。

(回答)

12 日～13 日。28 年度が 14 日、29 年度が 12.5 日、30 年度が 12.9 日である。

5). その他

特になし

以上